

地域社会への働きかけ： まちづくり、交通の将来像



昨年の展示の内容が新聞に記載されました

35 首都圏経済・環境

茨城

つくばに燃料電池の路面電車を

つくば市は、燃料電池の路面電車を導入する計画を発表した。これは、つくば市が掲げる「つくば未来市」のイメージの一つとして、2020年代前半に導入される予定だ。燃料電池の路面電車は、従来の蓄電池式と比べて、充電時間が短く、走行距離が長いという特徴がある。つくば市は、この技術を活用し、環境に優しい交通手段として導入する。また、つくば市は、燃料電池の路面電車の導入に伴って、関連するインフラ整備も進めている。例えば、燃料電池の供給システムや、充電インフラを整備する計画がある。つくば市は、この取り組みを通じて、持続可能な都市づくりを進めたいと考えている。

30年後のつくば未来市 (2007年版)

※つくば未来市は架空の地域です。つくば市ともつくばみらい市とも関係ありません。

LRT (新型路面電車) 駅を作るしたら、どこに作りますか？

